

# 花と緑の銀行だより

239号 2026.5



にゅうぜんフラワーロード (写真：入善支店)

## 目次

- ・花と緑の提言 花と緑があふれる入善町を目指して (入善支店) . . . . . 2
- ・活動事例 氷見支店の緑花推進活動について (氷見支店) . . . . . 3
- ・技術講座 生態系に配慮した宿根草の庭づくり  
～ カクトラノオ (ハナトラノオ) ～ (職藝学院 渡邊美保子) . . . . . 4
- ・緑づくりコーナー 庭木に利用する樹種の特徴と管理  
～ サクラの病虫害、特にクビアカツヤカミキリについて ～ (樹木医 帳山朋美) . . . . . 5
- ・とやまの花壇 ～ 富山市 興南中学校教育後援会&生徒会美化実践部 ～ . . . . . 6
- ・この人あり 私の花活人生 故郷を花と緑の里に (小矢部支店北蟹谷地方銀行 頭取 川原俊昭) . 7
- ・報告及びお知らせ 花とみどりふれあいフェア など . . . . . 7

## 花と緑があふれる入善町を目指して

花と緑の銀行 入善支店長  
入善町長 笹島 春人



日頃より花と緑の緑化活動に多大なるご支援とご協力をいただいておりますことに、心より感謝を申し上げます。

入善町は、富山県東部に位置し、北アルプスから流れ出る急流、黒部川によって形成された、黒部川扇状地の中心に位置する、人口約22,000人の町です。この扇状地を流れる清らかな水は、町の暮らしや産業、文化を育んできました。全国名水百選に指定された黒部川湧水群を有するなど、豊富で清らかな水が、町のいたるところで取水される、水と緑の恵みがあふれる名水の町であります。



写真1 入善町全景

また、日本一のチューリップ球根産地である富山県の中なかでも、入善町は有数の産地として知られています。毎年4月に開催している「にゅうぜんフラワーロード」は、今年で第30回を迎えました。雪の残る北アルプスの山々を背景に、約200万本の色とりどりのチューリップが盛り一面に広がる光景は圧巻であり、今年も県内外から多くの方々にご来場をいただいたところであります。



写真2 にゅうぜんフラワーロード

現在、入善支店では、10地方銀行、74名の頭取やグリーンキーパーが地域の緑化推進活動に取り組んでおります。

入善支店の活動としましては、町内の公園、公民館、小中学校、地域道路花壇等の約80カ所にプラグ苗、春苗、秋苗、チューリップ球根や冬苗の配布を行いながら、花と緑があふれる地域づくりを推進しているところであります。

また、各地方銀行では花苗の配布時期にあわせて、花壇づくり教室、寄せ植え教室や山野草展示会の開催など、独自の活動を展開しております。

近年の猛暑による影響で、緑化活動を行う環境が厳しさを増す中、令和7年度に開催された、第52回富山県花のまちづくりコンクールでは、栲山地方銀行が一般花壇の部で最優秀賞を受賞されました。地域の皆様による日々の献身的な活動が、このような形で実を結び、町としても誇らしく感じております。



写真3 栲山地方銀行の花壇

町では、これからも豊かな風土を生かし、花と緑をとおして住民同士の交流や子供たちの情操教育、そしてふるさとへの愛着につながる活動と花いっぱい町づくりに、地域の皆様と共に邁進していきたいと考えております。

結びに、頭取、グリーンキーパー及び町民の皆様には引き続き、地域の緑化推進活動に一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、公益財団法人花と緑の銀行の益々のご発展と皆様方のご健康とご活躍をご祈念申し上げます。

# 氷見支店の緑花推進活動について

花と緑の銀行氷見支店事務局

氷見市建設部都市計画課 主任 **福嶋明宏**

氷見支店では、年間約8万人が訪れる氷見市海浜植物園を「緑花の拠点施設」と位置付け、花と緑を通じた潤いあるまちづくりを推進しています。全24地方銀行の頭取・グリーンキーパーをはじめ、地域で緑花活動に取り組む方々に対し、花苗配布や花壇造成、土壌改良等の支援を行っています。

中でも、同園が「親子連れが多く訪れる観光施設」である点に着目し、次世代の担い手育成と地域活動の裾野拡大を目的として、「花と緑のふれあい学校」と「ひみ花とみどりのフェスタ」の2事業に積極的に取り組んでいます。



写真1 花と緑のふれあい学校①

「花と緑のふれあい学校」は、氷見市長を「校長」、副市長を「副校長」と位置づけた通年事業であり、フラワーアレンジメント、雪つり等の実践的な技術習得の機会を提供しています。これまで600名を超える市民の皆さんが受講されており、受講者は毎月1回（日曜日）海浜植物園において、ガーデニングや造園の専門家から、体系的に緑花技術を学んでいます。



写真2 花と緑のふれあい学校②

近年はシニア層の受講が中心となっていましたが、園内での積極的な周知活動を行ったところ、令和6年度及び7年度には、小学生の親子連れの参加につながることができました。地域緑花活動における担い手不足が課題となる中、子どもたちが花と緑に触れ合う機会を創出することは、将来のグリーンキーパーの育成にもつながる重要な取り組みであると認識しており、本事業の継続的な充実を図ってまいります。



写真3 花とみどりのフェスタ①

「ひみ花とみどりのフェスタ」は、毎年春に海浜植物園で開催している緑花普及イベントで、地域の緑花団体や木育関連団体等と連携しながら実施しています。花苗の無料配布（先着200名）には毎回多くの来園者が訪れ、地域における緑花活動への興味喚起につながっています。



写真4 花とみどりのフェスタ②

令和7年度は、社会人吹奏楽団による演奏や地元の園児たちによる遊戯披露に加え、グリーンキーパーによるワークショップを実施するなど、来場者が楽しみながら緑花について学べる内容としました。市内外からの来場者に対し、花と緑の魅力や地域活動の意義を発信する場として、重要な役割を果たしたと受け止めています。

現在、氷見市は、令和6年能登半島地震からの復旧、復興の途上にあります。高齢化の進展等により、地域花壇の維持が難しくなっている状況も見られますが、頭取・グリーンキーパーの皆さまには、花と緑の活動が市民の皆さんの「心の復興」に寄与するとの思いのもと、継続的に取り組んでいただいています。氷見支店ではこうした取り組みを通じて、緑花活動に触れる機会の創出と地域参加の促進を図るとともに、花と緑にあふれる潤いあるまちの実現に向けて、関係者と連携しながら、取り組みを一層推進してまいります。

結びに、公益財団法人花と緑の銀行の益々のご発展と皆さま方のご健闘とご活躍をご祈念申し上げます。

# 生態系に配慮した宿根草の庭づくり ～ カクトラノオ (ハナトラノオ) ～

職藝学院

教授 渡邊美保子

庭園に宿根草を取り入れる際に大切なことは、こぼれダネで増えすぎるものに注意をすることと、地下部の生態を知ることです。株の広がり方には、植え付けた場所でじっくりと株を大きくしてゆくタイプと、地下茎を伸ばして地面の下を横方向へ伸び進むタイプがあります。地下茎で広がってゆく宿根草は、植栽した場所から移動してゆくの注意が必要です。

北アメリカ原産のシソ科のカクトラノオは、別名ハナトラノオとも呼ばれ、草丈は100cm前後で8月中旬から9月中旬頃まで薄桃色の花を咲かせます(写真1)。日当たりと水はけの良い場所を好み、猛暑に強いので夏の花壇では重宝します。春に地上の茎が伸び始めると地下茎の生育も始まります。地下茎は、地面から2cmほど下の地中を水平に伸びてゆきます。四方八方掘り進み陣地を拡大します。秋までに地下茎の先に子株を作り細い根を放射状に広げて定着します(写真2)。親株が枯れると地下茎は切り離されて、子株は独立します。それまでは、地下茎を通して親株からの養分を吸収し続けます。地下茎を伸ばした先に障害物があると、そこを通り越して先に進むのでやっかいです。

カクトラノオは繁殖力が旺盛なため、他の宿根草の陣地にどんどん分け入ってゆきます。また、こぼれダネでも繁殖するため、河川敷などに逸出することもあります。庭園では、5月から6月にかけて思いもよらないところから茎が現われます(写真3)。抜き取ってカクトラノオの陣地を縮小させましょう。軽く引っ張るだけで簡単に抜けます。すでに短い地下茎が数本伸びているのがわかります。

※ カクトラノオの詳しい説明は、『花と緑の銀行だより 205号』(2017年9月)参照(花と緑の銀行ホームページの技術情報『富山で楽しむ宿根草』シリーズ 4No.34にも掲載)



写真1 8月中旬。薄桃色の花がカクトラノオ。濃い赤紫色の花はミソハギ。どちらも地下茎で広がる宿根草。開花期間が重なるのでカクトラノオの地下茎がミソハギに入り込むが組み合わせは美しい。雑草防除にもなる。



写真2 12月初旬。カクトラノオの地下茎。開花した茎は枯れてゆくが、茎の付け根から5～6本ほどの地下茎が伸びてその先に子株を作る。子株は枯れず冬を越し、翌年に開花する茎となる。40cmほどの地下茎を伸ばすものもある。1株植えた場所から3年後には1m以上先に移動することになる。庭園から逃げ出さないように注意が必要。



写真3 6月下旬。黄緑色の芽が垂直に立っているのがカクトラノオ。黄色い花の咲いているコレオプシスも地下茎で広がるが、少しずつしか地下茎を伸ばさない。花の間から突き出ている茎は早めに抜き取る。

# 庭木に利用する樹種の特徴と管理

## ～サクラの病虫害、特にクビアカツヤカミキリについて～

(一社) 日本樹木医会富山県支部

樹木医 帳山朋美

尊敬する西村樹木医からバトンを受け、今号から緑づくりコーナーを担当することになりました。至らぬ点多々ありますが、皆様のお役に立てる情報を私なりに発信してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

サクラ（主にソメイヨシノ）は病虫害の多い樹木として知られています。コスカシバ、てんぐ巢病をはじめ、アメリカシロヒトリやモンクロシヤチホコ等のケムシ類、アブラムシ、カイガラムシ、根頭がんしゅ病、増生病、穿孔褐斑病、更にはベッコウタケ等の材質腐朽菌など、数え出すとすぐに両手が埋まってしまう。そんな中、サクラを脅かす驚異として近年全国的に被害が拡大しているのが、特定外来生物の「クビアカツヤカミキリ」です。本種はサクラやモモ、ウメなどの樹木内部を食害して枯死させる恐れがあり、県内でも警戒が必要です。



写真1 クビアカツヤカミキリ（上；成虫、下；幹から排出されたフラス（左）、ヤニ（右））埼玉県 2025年7月、（公財）日本花の会 西山樹木医撮影

### 1 クビアカツヤカミキリの特徴

成虫は名前の通りクビ（胸部）が赤く、体はツヤのある黒色です（写真1）。幼虫は木の中で2年ほど過ごすことが多く、成虫は5月下旬～8月

頃に見られます。被害木の根元には、幼虫が食い荒らした大量のフラス（木屑や糞などの排出物）が堆積します（写真2）。

桜並木のほとんどが枯れてしまったという地域もあります。フラスが大量だったり、近くで成虫を見つけたりすれば本種で間違いありませんが、発生初期では気づきにくく見過ごされがちです。見つけやすいのはフラスやヤニです。サクラの幹を加害する他の害虫と見分けるポイントをまとめました（表1）。

表1 サクラの幹を加害する害虫と排出物の比較

フラス（木屑や糞などの排出物）	ヤニ
クビアカツヤカミキリ（写真1）	
明るい色、ひき肉のように連なる 初期は地面のそば、徐々に上方へ スプーンですくったような薄く短い木屑	透明 ～白っぽい
コスカシバ	
黒っぽい、粒状の虫糞が目立つ 樹皮が分厚いところに多い	茶色～褐色 虫糞が混じる
ゴマダラカミキリ、ウズバカミキリ	
明るい色、木屑が連なる、ペレット状 繊維状の木屑が多い	

### 2 クビアカツヤカミキリの防除

木の中にいる幼虫の捕殺は困難で、網巻きやスプレー、樹幹注入、散布など、複数の方法を組み合わせ、継続的に行う必要があります。被害が著しい場合は、拡大防止のため伐倒駆除を行います。防除で最も大切なのは「早期発見、早期駆除」です。早く気づいて直ぐに防除すれば、被害を少なくすることができます。もし疑わしい被害を見つけたら、植物園や樹木医会などの関係機関へ是非ご一報をお願いします。富山県で被害が発生しないことが一番望ましいですが、皆でチェックし、クビアカツヤカミキリからサクラを守りましょう！



写真2 根元に堆積したフラス（茨城県 2025年2月、富山県支部 野上樹木医撮影）

# とやまの花壇 ～ 富山市 興南中学校教育後援会 & 生徒会美化実践部 ～

富山の各地域で、皆さんが丹精込めてお世話されている素晴らしい花壇をご紹介します。  
花とみどりの癒しのスポットを、是非、ご探訪ください。

## 1 花壇の特色

富山市下熊野の興南中学校グラウンドに隣接する市道沿いに、興南中学校（以下、興南中）の生徒会美化実践部が母体となり、興南中教職員やPTA 役員（小・中学校）、新保及び熊野の自治振興会で作る教育後援会や地方銀行などが協力して維持管理している花壇（以下、興南中花壇）があります。

興南中南側の空き地は荒れ放題になっていたことから、この状況を打開しようと平成 30 年に教育後援会内に花と緑の実行委員会が設置されました。花壇造成、花と緑の植栽・管理を通して、生徒や保護者、地域住民に優しさと心の安らぎを与え、さらに、子供たちに穏やかな心を育む、世代間交流を図る、安心安全なまちづくりを進めることを狙いに花壇づくりに取り組んだとのこと。

今では 120 名と多くの構成員からなり、春の花壇造成は、生徒 30 名を含む総勢 50 名で行うなど、学校と地域が一体となった活動により、花のまちづくりコンクールでは、初挑戦の令和元年度の奨励賞、令和 6 年度の優良賞から、令和 7 年度にはジャンプアップして最優秀賞花壇となりました。



写真 1 平成 29 年 7 月の興南中南側  
空き地

## 2 活動概要

### (1) 取組みと工夫

- ・関係者による花壇植栽のための研修会を開催し、管理技術の向上を図った。
- ・関係団体が多いことから、花と緑の実行委員会で各団体の栽培管理の担当日を決めて活動実施
- ・予算的なこともあり、5 か年計画で土壌改良を実施
- ・できるだけ除草対策、水やりの簡素化に努める。
- ・メインのプランターは、“創造・敬愛・不撓により世界へ羽ばたく姿”を表現した興南中の校章を、2025 年度は、マリーゴールド（黄色）、サルビア・ファリナセア（青色）、シロタエギク（白色）を用いて表現

### (2) 花壇づくりへの思い

みんなで花壇造成、花壇管理を行うようになってから、生徒や保護者、地域住民の間で頻繁にコミュニケーションが取れるようになりました。

興南中グラウンドの除草についても、地域のみなさんが積極的に協力し合い、環境美化が一層進みました。



写真 2 最優秀賞を受賞した興南中花壇

新保と熊野の両校区が一緒に花壇に取り組むことで、それぞれの住民間の意思疎通が進み、これまで気づかなかったお互いの良さを意識するようになりました。

早朝の水やりや除草の際に、道路を行きかう人たちがグラウンドを利用している生徒からの挨拶が増え、地域の活性化につながっているように思います。

これからもこの花壇を維持していくためには、解決すべき課題がいくつかありますが、教育後援会と生徒会美化実践部が中心となって、末永く続く活動にしていきたいと考えています。



写真 3 生徒や地域住民による花壇管理作業

（以上、熊野地方銀行 頭取 能田重勝さんにお話を伺いました。）

### ●花壇の概況

- ・規模：68 m × 2.1 ～ 2.3m  
花壇内径 90cm、プランターポット 21 ケ
- ・見頃：7 月～10 月
- ・所在地：富山市下熊野  
興南中学校グラウンド南側市道沿い



# 私の花活人生 故郷を花と緑の里に

小矢部支店北蟹谷地方銀行  
頭取 川原 俊昭

北蟹谷地区は県境に近い自然豊かな山里で、私が子供のころは「ふるさと」の歌のようにウサギ追いや川で魚を獲ったりして遊びました。

そんな地域で私がこれまで花と関わってきたことの一端を述べさせていただきます。

## ○日本たんぽぽとヒガンバナの里

20年ほど前、村の神社境内に希少植物となった日本タンポポが残っていることを知り、村として保護増殖活動をするようになりました。苗を育てて全戸に配布し屋敷に植えるほか、西洋種の抜き取りなどを続けました。

こうした活動が新聞、テレビ等で紹介されたことから、日本たんぽぽの残る村として知られるようになりました。

また、秋に真っ赤な彼岸花の咲く昔の景色を復活させようと思い、平成13年、球根を購入して畦畔に植えました。その後、町内の皆さんの協力で花を増やす取り組みを続け、これまでの25年間で3万6千球を植え、18万本の花が咲くようになりました。

取り組み20年目の令和2年、「ヒガンバナの里」として散策マップを作り、のぼり旗、新聞等でPRしたことで、県内外から大勢の方々が見に来られるようになりました。それ以降、毎年



写真1 ヒガンバナ鑑賞会

9月下旬の花の時期に町内の役員で案内などを行っています。

訪れた人から「五郎丸の里山の風景とヒガンバナが映えて心が癒されます」などの声をいただき、元気をもらっています。

## ○地域の仲間と花づくり

地域の花好きな女性による「花と緑の友の会」が母体となって、現在の北蟹谷地方銀行となっています。14年前、頭取就任時は10人だったグリーンキーパーは23人に増え、活動が充実しました。

活動の中心は地区公民館の花壇作りです。花づくりの技術も向上し、県の花壇コンクールで毎年上位入賞できるまでになりました。また、毎年公民館の周りの生垣・藤棚の剪定、公民館祭での寄せ植え展示、ヒガンバナ鑑賞会などにも取り組んでいます。

地区の皆さんに花と緑の美しい環境を提供するとともに、会員が自らの健康と生きがいとして楽しく元気に活動しています。

これまで花を通じて多くの方と出会い、また指導いただく御縁を得て、私の人生を深く豊かにしていただきました。皆様に深く感謝申し上げます。



写真2 花壇の花苗植え

## 報告コーナー

### 令和7年度「花とみどり・ふれあいフェア」を開催

2月28日(土)、3月1日(日)の2日間、令和7年度の「花とみどり・ふれあいフェア」をファボーレ(富山市)にて開催しました。

今回のイベントは、チアリーディングPuppys(パピーズ)の力強いステージで賑やかにスタートしました。テーマは「花と緑でウェルビーイング」。暮らしに花を飾る寄せ植え教室や、緑に親しむ木工体験など、実際に見て・触れて・体験できる企画を多数開催しました。

ご来場の皆さまには、花と緑があることで生まれる「潤いと安らぎのある生活」の心地よさを、たっぷり感じていただけたことと思います。



花の種無料貸し出し

### ○コンテナガーデンコンテスト入賞作品

賞	市町村	地方銀行等	出展団体	タイトル
大賞	高岡市	赤丸	赤丸地区花と緑の銀行	早春の赤丸
優秀賞	上市町	上市	花と緑の銀行上市支店	おおかみこどもの花の家
佳作	砺波市	南般若	南般若花と緑の推進協議会	つなく春ガーデン
佳作	射水市	小杉	小杉花作り同好会	旧北陸道宿場町=小杉=の早春
佳作	南砺市	平支所	花と緑の銀行南砺支店 平支所	ささらの里に春よ来い

\* 応募総数：12作品 県内各地の花と緑の地方銀行等から出展



大賞 赤丸地区花と緑の銀行

### ○わたしの寄せ植え入賞作品

賞	氏名	市町村	タイトル
最優秀賞	清水 愛子	射水市	早春を待つ
優秀賞	長田 厚子	射水市	春!春!春!
優秀賞	松本 歌子	射水市	出航
新人賞	黒田 康弘	射水市	風薫る頃を想う
佳作	高木 清一	砺波市	春風にゆれて・・・
佳作	友好ガーデン代表 菅谷 俊成	高岡市	門松を使って和風の雰囲気を出して和風と洋風の「春の花」を寄せ植えました
佳作	瀧本 晴美	射水市	春うらら
佳作	薬師 笑子	射水市	友へ捧げる

\* 応募総数：15作品 一般の方から出展、1作品 特別出展(審査対象外)



最優秀賞 清水 愛子

## 「銀行だよりの掲載記事に関するアンケート」結果の概要

令和7年5～12月に実施したアンケートでは、273名の皆様から貴重なご意見をいただきました。心より感謝申し上げます。調査の結果、現在の記事はすべて「普通」から「面白い」との評価をいただき、中でも「技術講座」と「花壇紹介」が特に好評でした。

皆様からいただいた「こんな記事が読みたい」という具体的なリクエストにお応えし、これまでの掲載記事を継続するとともに、「優秀花壇づくりの裏話」「花壇デザインのポイント」「土づくり」といった話題も、可能な限り記事や研修の中でご紹介してまいります。

なお、アンケート結果の詳細については、本店または各支店へお尋ねください。

また、今月号から、緑づくりコーナーの執筆者が、西村樹木医から帳山樹木医へバトンタッチいたします。長年執筆いただいた西村先生には深く感謝申し上げますとともに、新しく加わる帳山先生の解説もぜひ楽しみになさってください。

## お知らせコーナー（6月～8月の主なイベント）

### 令和8年度花と緑のコンクール

コンクール名	応募締切	審査日
○ 富山県花のまちづくりコンクール プレミアム花壇部門	7月8日（水）	7月15日（水）
花の道	7月15日（水）	7月23日（木）～24日（金）
一般花壇部門	7月22日（水）	7月30日（木）～31日（金）
学校花壇部門	7月8日（水）	7月16日（木）～17日（金）
○ 花と緑の標語コンクール	7月31日（金）	8月28日（金）
○ 花と緑のポスター原画コンクール	9月7日（月）	9月11日（金）

### 富山県中央植物園

- 第44回ウチョウラン展 6月19日（金）～21日（日）
  - オックスフォードガーデンパーティー 6月27日（土）～28日（日） 10:00～16:00
  - 夏休み子ども企画「森のクラフト」 7月17日（金）～8月19日（水）
  - 夏休み子ども企画「オオオニバスに乗ってみよう」 8月7日（金）～9日（日）
  - 夕涼み植物園 8月21日（金）～23日（日） 18:00～21:00
- （詳細はHPをご覧ください。お問い合わせは富山県中央植物園へ。参加には入園料が必要です。）

### 県民公園 頼成の森

- 頼成の森「花しょうぶ祭り」 6月12日（金）～21日（日） 9:00～16:00
  - 野鳥と昆虫の観察会 7月19日（日） 9:30～12:00 定員:25名 参加費:無料
  - ♡夏♡の頼成の森観察会<カブトムシウオッチング>  
7月26日（日） 9:30～11:00 定員:20名 参加費:無料
  - 竹を使った工作教室 <水鉄砲で遊ぼう>  
8月2日（日） 9:30～12:00 定員:20名 参加費:600円
  - 木製楽器づくり教室 8月23日（日） 9:30～12:00 定員:20名 参加費:600円
- （詳細はHPをご覧ください。お申し込み・お問い合わせは県民公園 頼成の森へ）



オオオニバスに乗ってみよう  
(R7.8月)



花しょうぶ祭り (R7.6月)

#### ◆お願い

各行事の中止や内容の変更を行う場合があります。  
各行事の詳細はその都度担当部署へお問い合わせください。

編集発行 公益財団法人 花と緑の銀行  
〒939-2713 富山市婦中町上轡田 42  
TEL 076-466-2425 FAX 076-465-5923  
<https://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園  
〒939-2713 富山市婦中町上轡田 42  
TEL 076-466-4187 FAX 076-465-5923  
<https://www.bgtym.org/>

県民公園頼成の森  
〒939-1431 砺波市頼成 156  
TEL 0763-37-1540 FAX 0763-37-1450  
<https://www.bgtym.org/ranjyounomori/>



花と緑の銀行だより 239号

発行日 令和8年(2026)5月  
再生紙を利用しています。